

「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成30年4月

福井県知事 西川 一 誠

産業労働部長 安倍 暢 宏

30年度の施策

1 革新と創造で伸びゆく福井の企業

◇福井発の「ローカル産業革命」

○産業革新の一貫システム【共同研究】

- ・地域経済に大きな波及効果が見込める研究開発を加速させるため、「ふくいオープンイノベーション推進機構」において、大企業との連携を強化し、新たな共同研究プロジェクトを進めます。

目 標	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (目標)
共同研究プロジェクト数 (累計)	15件	16件 (31件)	15件 (46件)	15件 (61件)

- ・「人材確保支援センター」を4月に福井商工会議所内に設置し、高齢者・女性など多様な人材が活躍できる職場づくりのアドバイスや、県内企業と県外大学との面談会の開催など、企業による人材確保の取組みを支援します。**チャレンジ施策**

- ・「福井ものづくり改善インストラクタースクール」により、生産現場における在庫管理の効率化などの業務改善指導ができる人材を養成します。また、養成した人材を県内ものづくり企業へ派遣し、業務改善指導を実施することにより、労働生産性の向上を図ります。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
スクール修了生人数 (累計)	—	13 人	15 人 (28 人)	15 人 (43 人)

○ I o T ・ A I 等の活用によるビジネス創出

- ・ I o T 等の導入による企業の生産性向上やビジネス創出を支援するため、セミナーの開催、課題解決のための専門家チームの派遣、助成や融資による資金支援を行い、企業の競争力強化を図ります。
- ・ A I を搭載したコンピュータなど最新機器を利用できる「A I ビジネス・オープンラボ（仮称）」を、10 月を目途に産業情報センターに設置します。県内大学や I T 企業と協力しながら、学生を対象としたプログラミング教室の開催や、企業の I T 担当者向けのソフト試作のサポートなど、I T 人材の育成を促進します。**チャレンジ施策**

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
ラボ利用者数	—	—	—	1,000 人/年

○地域連携・業種横断の技術革新

- ・平成32年度(2020年度)の打上げに向け、県民衛星の J A X A ロケットへの搭載にかかる申請が早期に採択されるよう、関係省庁および J A X A への働きかけを継続します。採択後、速やかに県民衛星の設計・製造に着手します。
- ・県民衛星の製造技術の蓄積に向けて、工業技術センターの環境試験機の利用を促進し、県内外の大学・企業、J A X A との共同研究等の技術交流につなげます。

- ・本県の宇宙産業を衛星の製造、データ利活用の両面から幅広い分野に拡大するため、炭素繊維など新素材の活用や通信技術、宇宙服などの研究開発を行います。また、防災に使う試作ソフトの実証・改良等を支援し、県内企業の参画を促進します。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
宇宙産業への県内 企業の参入数 (累計)	25 社・団体	18 社・団体 (43 社・団体)	8 社・団体 (51 社・団体)	4 社・団体 (55 社・団体)

- ・平成 31 年度(2019 年度)に開催される「宇宙技術および科学の国際シンポジウム (I S T S)」に向け、本県の宇宙産業振興や科学教育を目的とした、NASA・JAXA への小中学生の派遣、外国人研究者等の受入整備を進めます。**チャレンジ施策**

- ・業種や県域を越えた企業連携など繊維産業のサプライチェーン強化への支援により、繊維製品の新商品開発や販路拡大等を促進し、売上拡大につなげます。また、県内外ファッション系学校の研修体験により業界を担う若手の人材確保を図ります。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
売上額 (累計)	2.1 億円	2.8 億円 (4.9 億円)	3.4 億円 (8.3 億円)	2.7 億円 (11 億円)

- ・眼鏡や繊維等の技術を活用したウェアラブル製品について、セミナーを通じた人材育成、新商品開発、国内最大級の I o T 総合展示会への出展などによる販路開拓支援を行い、県内企業の関連産業への進出を促進します。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
ウェアラブル関連 産業への進出数 (累計)	17 件	20 件 (37 件)	20 件 (57 件)	23 件 (80 件)

- ・医療・介護・健康増進分野の団体の協力を得て設立した「福井しあわせ健康産業協議会」を通じ、ニーズ発掘のための現場見学会等の開催、試作品開発のための助成制度の創設により、製品化を促進します。併せて、首都圏の医療機器メーカー等に向けた展示商談会の開催により、医療関連部品での採用を働きかけ、医療・介護・健康関連ビジネスの拡大を図ります。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
医療関連の新たな 製品化数 (累計)	12 件	12 件 (24 件)	12 件 (36 件)	12 件 (48 件)

○世代をつなぐ「職人」技術

- ・本県がメイン会場となる平成 31 年度(2019 年度)の「国際北陸工芸サミット」開催に向け、伝統工芸産地事業者と国際的なアーティスト等とのコラボレーションや海外向けクラウドファンディングを活用した新商品開発を進めます。
- ・サンドーム福井の「ものづくりキャンパス」において、デザインセンターが中心となり、ものづくり企業関係者、伝統工芸職人、デザイナーなど幅広い層に向けて、流通サポートを含めた新ブランド・商品の開発支援や実践的なデザイン講座を開催し、人材を育成します。
- ・越前ものづくりの里プロジェクトについては、「伝統工芸職人塾」による後継者育成を継続します。また、産地が連携して伝統工芸の魅力を発信し、観光誘客の拡大を図ります。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
伝統工芸職人塾生 (累計)	25 人	25 人 (50 人)	43 人 (93 人)	27 人 (120 人)

- ・「越前古窯博物館」において、水野九右衛門コレクションの調査研究や本県ゆかりの岡倉天心を顕彰した茶会を開催します。また、産地や町と連携し、陶芸村の産業観光を進めるなど、越前焼の振興を図ります。

○新福井経済新戦略（仮称）の策定

- ・県内企業を取り巻く経済情勢の変化や北陸新幹線県内延伸に対応するため、県内外の企業や有識者からの情報収集、意見交換を進め、I o T・A Iの普及による生産性向上や新しい産業の創出等を図る新たな経済戦略を策定します。

◇地域ビジネスを積極的に応援

○小さな企業の元気応援

- ・小規模企業等の元気を生み出す事業計画の策定から実行まで一貫した支援を行い、北陸新幹線県内延伸などに対応するため、おもてなし産業の魅力向上や事業承継・生産性向上等の課題解決を図ります。

チャレンジ施策

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
支援企業数 (累計)	1,997 社	2,070 社 (4,067 社)	2,138 社 (6,205 社)	2,295 社 (8,500 社)

- ・ふくい産業支援センター嶺南サテライトオフィスを拠点に、嶺南地域の商工団体と連携して、経営指導から商品開発等の高度な専門的知識を要する相談対応まで、一貫した支援を行います。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
嶺南企業支援数 (累計)	141 社	162 社 (303 社)	234 社 (537 社)	213 社 (750 社)

- ・県内小売店等におけるクレジットカードや今夏、県内で利用が始まるI C O C Aなど電子マネーの利用環境の整備に向け、市町や商工団体等と連携して、導入費の助成や導入の効果を積極的にP Rすることにより、県外や海外からの観光客等の消費拡大を促します。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
設置店舗数	—	—	94 社/年	250 社/年

○中小企業者への金融支援

- ・平成30年2月豪雪で被害を受けた中小企業者を対象とした利子・保証料補給制度など、セーフティネット資金を拡充します。さらに、事業承継を支援する前向き資金を4月に創設し、中小企業者の経営の安定と成長を促進します。

◇県・市町一体の企業誘致

○本社機能の誘致と産業団地の整備促進

- ・若者や女性に人気のある本社機能等の誘致に注力します。特にIT分野では都市部において、進出企業のネットワークを活用したセミナー開催を仕掛けるなど、サテライトオフィスの開設を支援します。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
立地企業数 (累計)	32 社	33 社 (65 社)	36 社 (101 社)	30 社 (131 社)
立地企業の業種数	8 業種	11 業種	11 業種	10 業種

- ・嶺南地域の産業団地については、敦賀市において敦賀市第2産業団地の造成工事を進め、今年度中の分譲開始を目指します。また、おおい町において、大飯高浜インター付近の調査を進め、平成34年度(2022年度)の分譲開始を目指します。
- ・奥越地域の産業団地については、大野市の七板地区において、造成工事に着手し、平成32年度(2020年度)の分譲開始を目指します。
- ・テクノポート福井の産業用地拡充については、今年度から測量・設計に着手し、造成工事を進め、平成31年度(2019年度)の分譲開始を目指します。

◇つかめ国内外のビジネス・チャンス【部局連携】

○国体・障スポ、オリンピック・パラリンピックを機にビジネス拡大

チャレンジ施策

- ・国体・障スポ、東京オリ・パラに向け、Made in Fukui の販路拡大を支援します。また、農林水産物を含め調達情報の収集や関係機関等への売込みを強化し、販売拡大につなげます。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
売上額	—	—	—	3 億円/年

- ・国体・障スポ期間中、プレミアムサービスを提供する県内小売・飲食店や福井の名物を買えるお店を紹介するアプリ「ふくい、幸（さち）サーチ」への参加店舗を拡大します。また、利用促進キャンペーンを実施し、店舗の魅力を広く P R することにより、国体・障スポ参加者等の県内での消費拡大を図ります。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
参加店舗数 (累計)	—	—	300 社	200 社 (500 社)

2 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ

◇「ふくい食ブランド」を地産・外商【部局連携】

○首都圏における県産品の販路拡大

- ・いちほまれなど福井のこだわり食材を使用した弁当など、新商品の開発・販売や、大手百貨店や企業内での大型の食の國福井フェアの開催、新たな営業担当職員の配置による販路開拓などによって、「ふくい南青山 291」と「食の國 福井館」の売上拡大を図ります。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
アンテナショップ の売上額	3.3 億円/年	2.9 億円/年	3.4 億円/年	4 億円/年

- ・スーパーマーケット・トレードショーなど県外の大規模小売展示会等への出店支援や、都市圏の食品バイヤー等による県内の企業訪問、商談会の開催等により、県産食品の新規取引を増やします。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
県産食品の新規取引額	5,070 万円/年	5,435 万円/年	6,136 万円/年	6,500 万円/年

○東南アジア等への海外展開の支援

- ・香港にアンテナショップを10月から12月までを目途に設置するほか、バンコクでの県内企業によるマーケティング調査や、浙江省との友好提携25周年を記念しての県産品PR、各国における商談会開催、海外事務所による現地情報の提供などを通し、県内企業の新規輸出、拠点開設を支援します。

チャレンジ施策

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
アジアへの新規輸出 (累計)	41 件	43 件 (84 件)	50 件 (134 件)	56 件 (190 件)
アジアへの拠点開設 (累計)	16 件	17 件 (33 件)	17 件 (50 件)	17 件 (67 件)

- ・県内大学や商工団体、福井県国際交流協会等とともに、留学生採用に役立つセミナーや留学生向けの合同企業説明会を4月に開催するほか、随時、個別企業への訪問説明会等を実施し、県内企業による留学生採用を支援します。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
県内企業による留学生採用数	7 人/年	5 人/年	10 人/年	10 人/年

3 人口減少に歯止めをかける徹底戦略

◇幸福日本一福井へ 移住・定住戦略【部局連携】

○女性・若者に活躍の場・しごと創造

- ・女性向け創業セミナーや先輩起業家との交流会、投資家等に向けたビジネスプラン発表会の開催により、起業や事業拡大を支援します。また、新たに学生の斬新なアイデアを活かした起業を促進するため、産業情報センターのインキュベート施設への入居費や会社設立経費を支援し、若者のビジネスチャレンジを応援します。

チャレンジ施策

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
県の支援による創業数 (累計)	74 件	106 件 (180 件)	112 件 (292 件)	108 件 (400 件)

○地場産業の宝庫・福井でチャレンジの夢ひらく

- ・人材確保支援センターの人材ニーズに関する情報を活用し、提携先の人材紹介会社によるヘッドハンティングなどを支援することにより、都市圏からの高度な技術やマネジメント能力を有する人材のU・Iターン就職を促進します。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
産業人材確保数 (累計)	11 人	21 人 (32 人)	25 人 (57 人)	30 人 (87 人)

◇女性の元気が福井の元気

○女性が活躍できる職場環境づくりの推進

- ・企業向け事業説明会の開催・企業訪問を通じ、育児に加えて介護と仕事の両立を実現する短時間勤務制度や離職女性の再雇用制度など、女性が働きやすい社内制度の導入を促進します。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
導入企業数 (累計)	30 社	18 社 (48 社)	36 社 (84 社)	36 社 (120 社)

- ・子育て・介護との両立支援制度、有給休暇取得率、早期離職率など、働きやすさを総合的に評価する調査を実施し、高評価の企業を誰もが働きやすい企業として表彰することにより、職場環境改善を促進します。

4 福井から人材育成

◇産業人材の育成・誘致システム

○中小企業産業大学校、産業技術専門学院の革新

- ・中小企業産業大学校において、産業技術専門学院の指導員や施設・設備等を活用した連携講座やオーダーメイド研修を実施し、産業人材育成機関としての機能を強化します。

5 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献

◇みずから伸ばす「健康寿命」

○健康長寿もうひと働き

- ・「シニア人材活躍支援センター」における専門的な技術や経験を持つシニア人材と県内企業とのマッチングや、人材確保支援センターと連携した、企業の職場環境改善への支援により、シニアの就職者を増やします。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
シニア人材マッチ ング数 (累計)	19 人	40 人 (59 人)	45 人 (104 人)	46 人 (150 人)

6 美しい県土、楽しく便利なまちの形成

◇道路・港湾の重点整備と利用促進【部局連携】

○敦賀港・福井港の利用促進

- ・大口荷主企業のセールスを強め、地元市や船会社、敦賀港国際ターミナル(株)との共同営業を行うことにより、新たな利用貨物の獲得やB C Pの観点から他港からの利用転換を促進します。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
敦賀港外貿コンテナの取扱貨物量	29,400TEU/年	30,618TEU/年	28,351TEU/年	30,000TEU/年
福井港の取扱貨物量 (石油製品、重油を除く)	60.5 万トン/年	65.2 万トン/年	71.3 万トン/年	70 万トン/年

○クルーズ客船の誘致・受入

- ・海外クルーズ客船寄港時には、滋賀県と連携し、おもてなしを充実するほか、海外での展示会への出展、寄港地決定に影響力を持つ運航責任者等の招へいなど、地元市の行うクルーズ客船誘致活動に対する支援を強化し、継続寄港を促します。

目 標	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (目標)
寄港決定回数	5 回/年	6 回/年	5 回/年	5 回/年